

令和6年度 第3回市政モニターアンケート調査結果

1 アンケート内容

(1) アンケートテーマ

動物愛護に関するアンケート(所管課:動物管理センター)

(2) アンケート目的

動物の飼育状況や動物愛護に関する意識等を把握し、今後の動物愛護に関する施策の検討材料とするため

(3) アンケート項目

16項目

- ・動物の飼育状況について
- ・動物から受けた被害や不快な思いについて
- ・野犬や野良猫への対策について
- ・地域猫活動について など

(4) アンケート対象

令和6年度市政モニター(241名)

令和6年度高校生モニター(63名)

(5) アンケート方法

姫路市オンライン手続ポータルサイトを活用

(6) アンケート期間

令和6年12月19日(木)から令和7年1月10日(金)まで

2 回答状況

(1) 有効回答数

237

(2) 回答率

78.0%

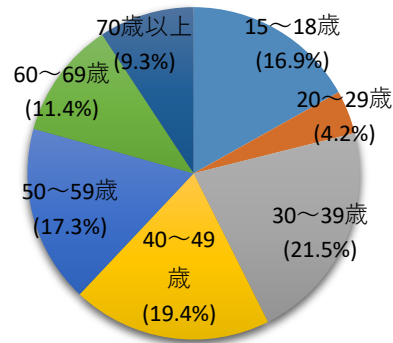
(3) 回答集計

次ページ以降のとおり

アンケート回答者の属性

年齢

15～18歳	40	(16.9%)
20～29歳	10	(4.2%)
30～39歳	51	(21.5%)
40～49歳	46	(19.4%)
50～59歳	41	(17.3%)
60～69歳	27	(11.4%)
70歳以上	22	(9.3%)



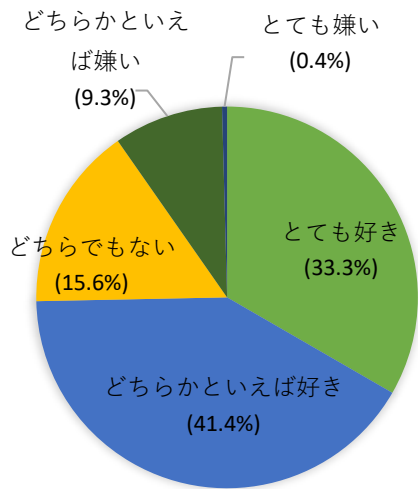
性別

男性	59	(24.9%)
女性	176	(74.3%)
その他	2	(0.8%)

質問1

あなたは動物が好きですか。

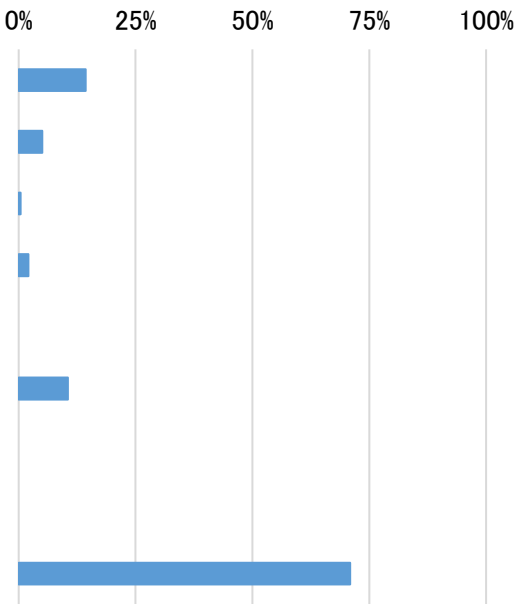
1 とても好き	79	(33.3%)
2 どちらかといえば好き	98	(41.4%)
3 どちらでもない	37	(15.6%)
4 どちらかといえば嫌い	22	(9.3%)
5 とても嫌い	1	(0.4%)



質問2

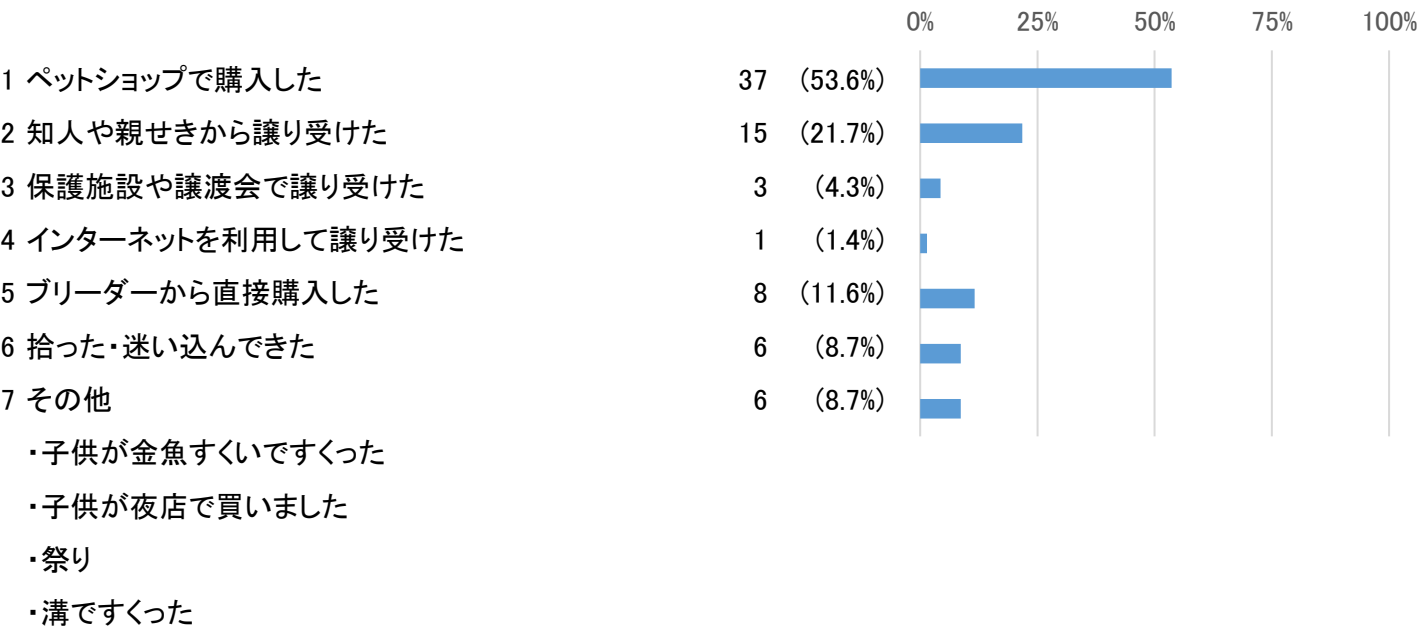
あなたは何か動物を飼われていますか。(複数回答可)

1 犬	34	(14.3%)
2 猫	12	(5.1%)
3 鳥	1	(0.4%)
4 ウサギ	5	(2.1%)
5 亀	0	(0.0%)
6 その他	25	(10.5%)
メダカ・金魚・熱帯魚等の魚、昆虫、蛇等の爬虫類、カニ、ウーパールーパー、ヌマエビ		
7 飼っていない	168	(70.9%)



質問3

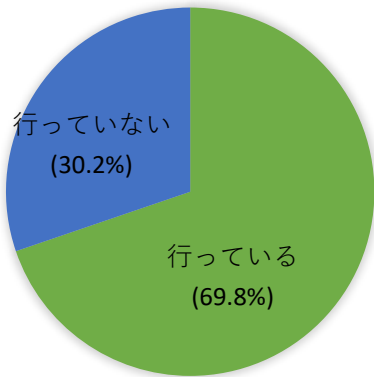
問2で1～6を回答された方にお伺いします。飼われている動物はどこから迎え入れられましたか。(複数回答可)



質問4

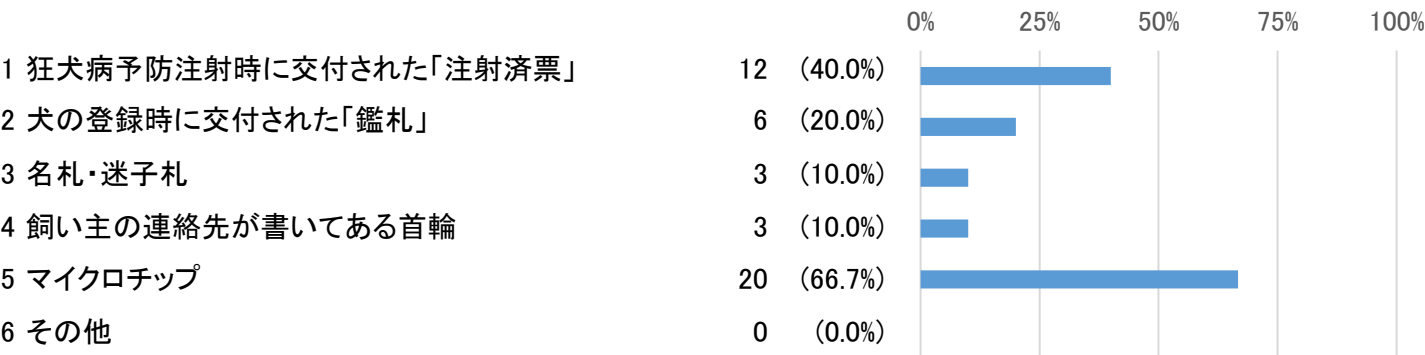
問2で「1 犬」もしくは「2 猫」を回答された方にお伺いします。ペットの所有明示(飼い主の氏名や連絡先が分かるものを装備)を行っていますか。

1 行っている	30 (69.8%)
2 行っていない	13 (30.2%)



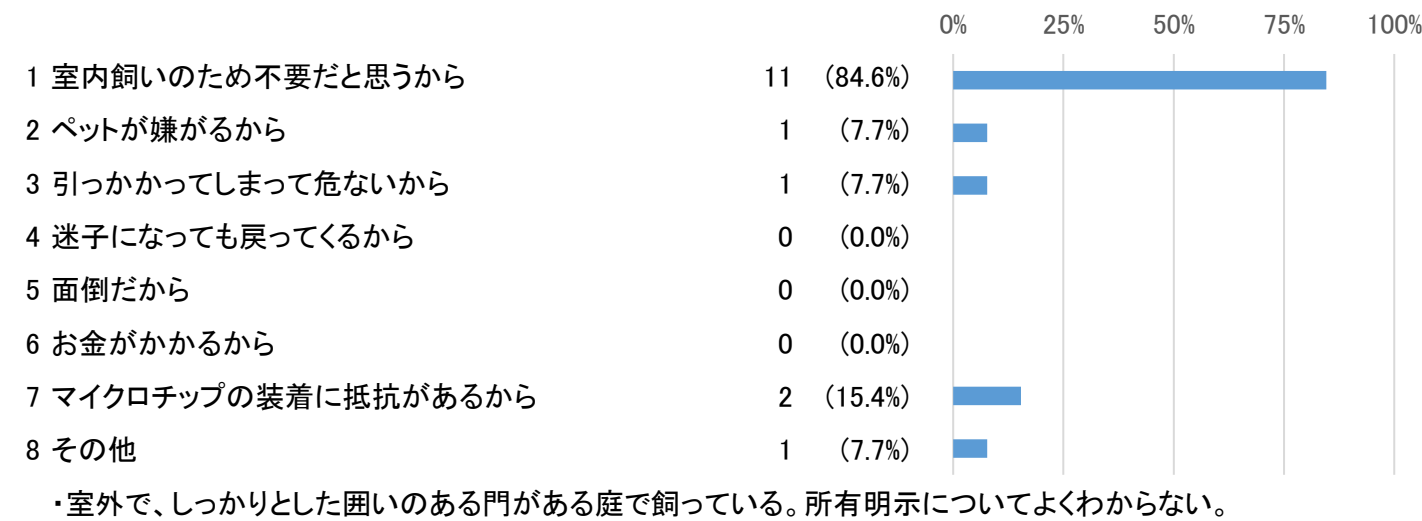
質問5

問4「1 行っている」と回答された方にお伺いします。所有明示をどのように行っていますか。(複数回答可)



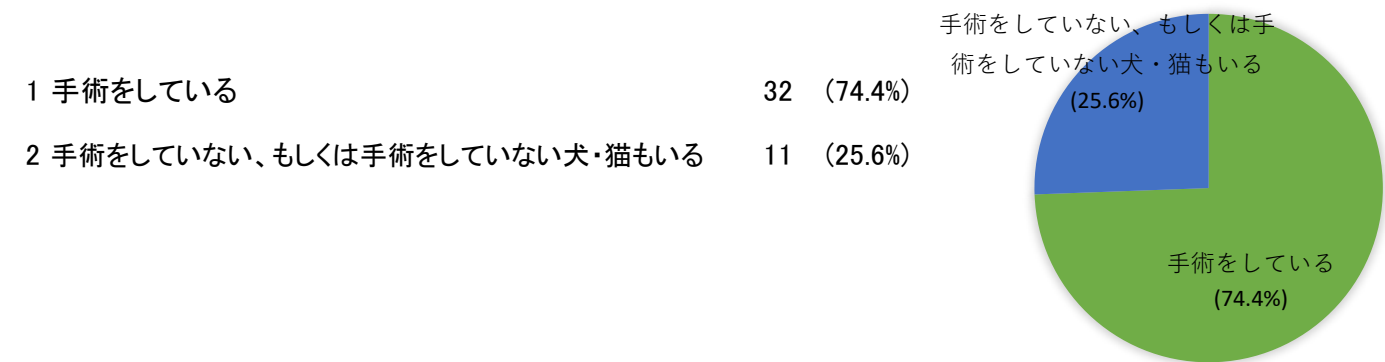
質問6

問4で「2 行っていない」と回答された方にお伺いします。所有明示を行っていない理由は何ですか。(複数回答可)



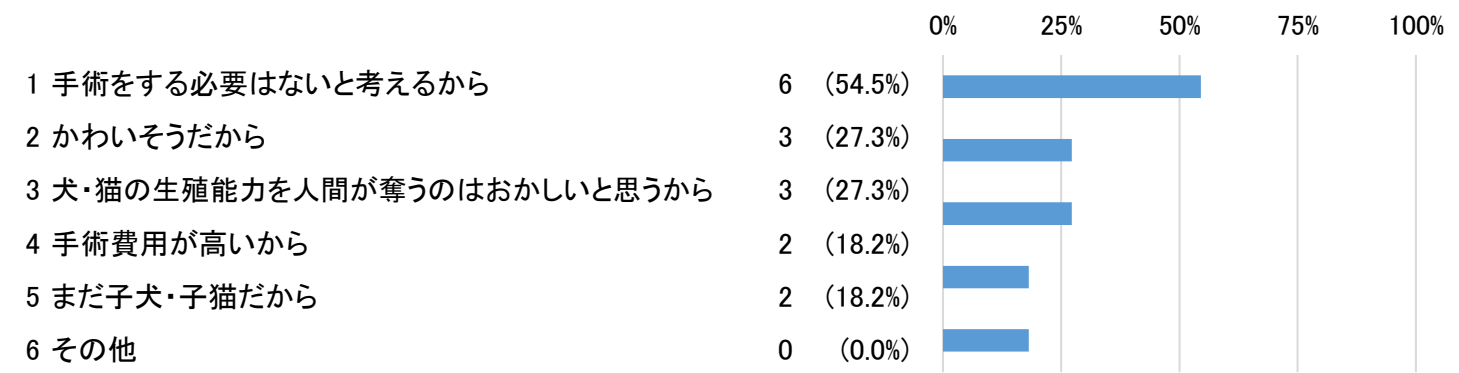
質問7

問2で「1 犬」もしくは「2 猫」と回答された方にお伺いします。飼い犬もしくは飼い猫に不妊・去勢手術はしていますか。



質問8

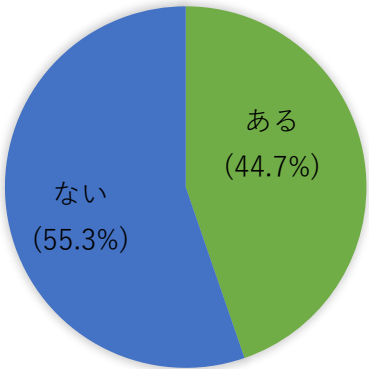
問7で「2 手術をしていない、もしくは手術をしていない犬・猫もいる」と回答された方にお伺いします。手術をしていない理由は何ですか。(複数回答可)



質問9

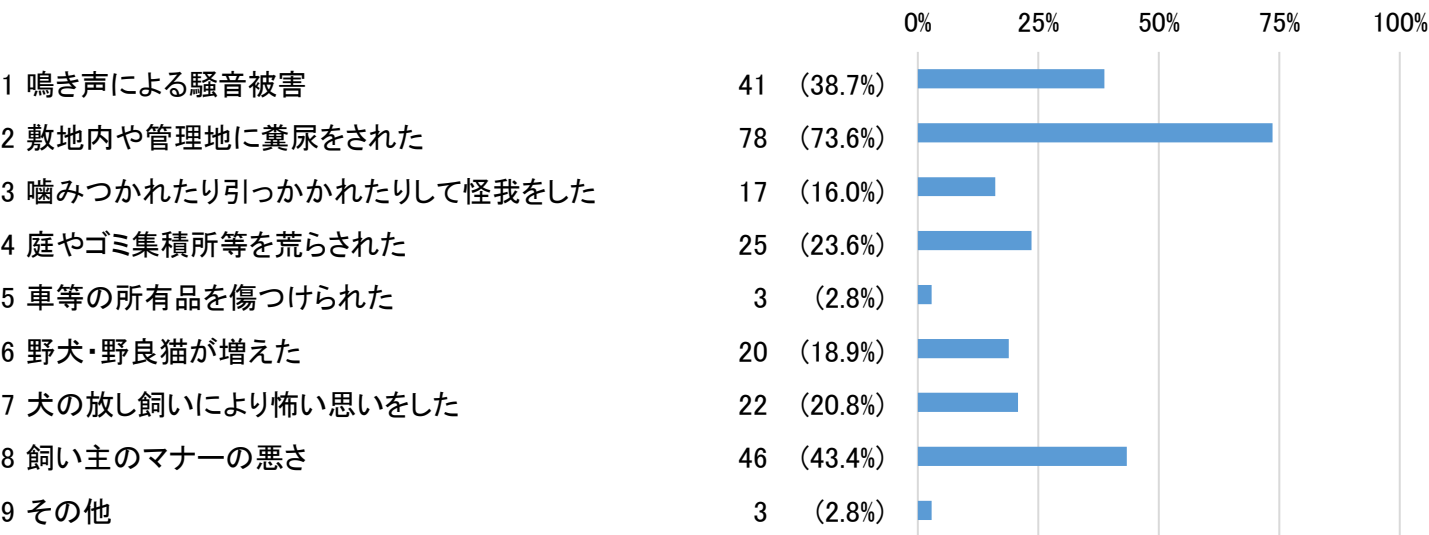
犬・猫等の動物による被害を受けたり不快な思いをしたことはありますか。

1 ある	106	(44.7%)
2 ない	131	(55.3%)



質問10

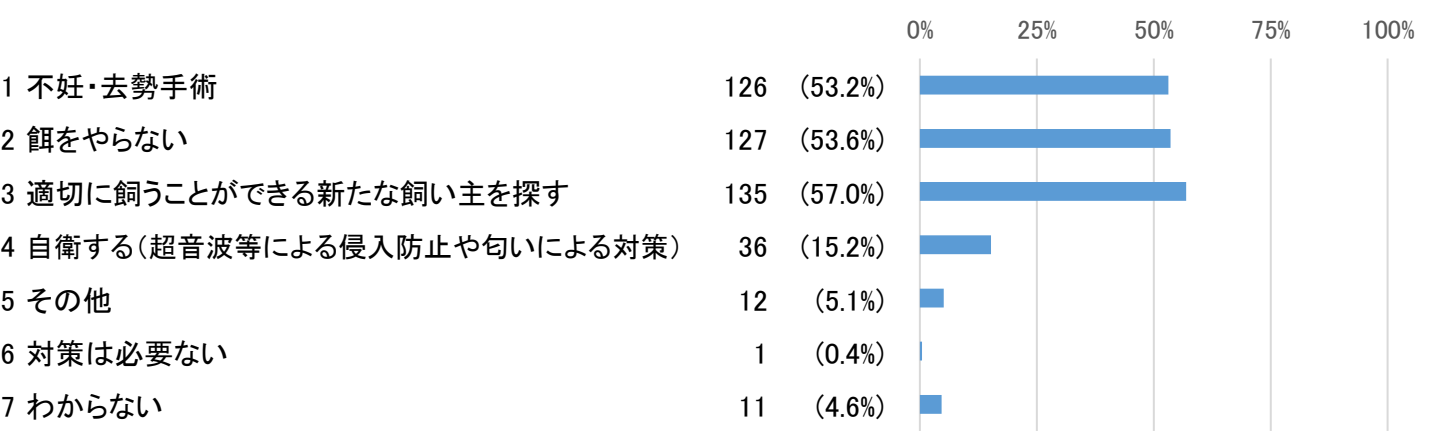
問9で「1 ある」と回答された方にお伺いします。被害もしくは不快な思いはどのようなものでしたか。(複数回答可)



- ・突然犬に吠えられたことです。悪気があったわけではないだろうけれど少しトラウマになってしまいました。
- ・家庭菜園を鹿やイノシシにしばしば荒らされている。鹿との接触事故でクルマを修理したこともある。
- ・敷地内ではないですが、まだ道路に糞尿が放置されてるのを目にします。

質問11

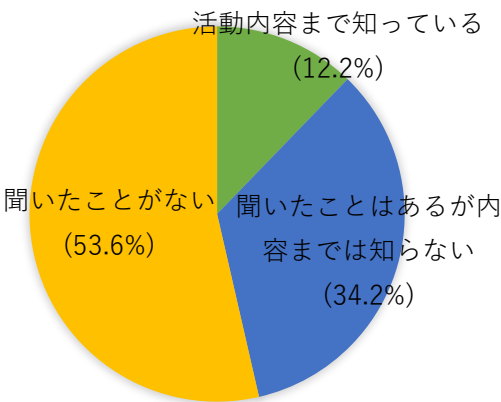
現在いる野犬や野良猫への対策はどのようにすればよいと思われますか。(複数回答可)



質問12

地域猫活動を知っていますか。

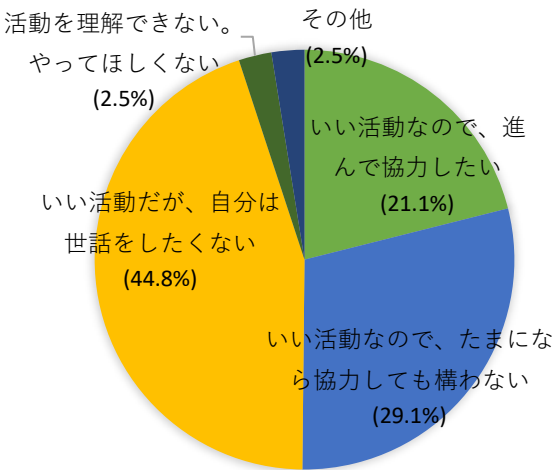
1 活動内容まで知っている	29	(12.2%)
2 聞いたことはあるが内容までは知らない	81	(34.2%)
3 聞いたことがない	127	(53.6%)



質問13

地域猫活動とは、飼い主のいない猫による糞尿や鳴き声による騒音などのトラブルを地域の環境問題として捉え、地域住民の合意のもと、その地域にお住まいの住民が主体となって、不妊去勢手術や一定のルールに基づいた餌やり及びトイレの管理などを行うことにより、トラブルを減らすとともに野良猫の数も減らして、住みよい地域にしていく活動です。この活動についてどう思われますか。

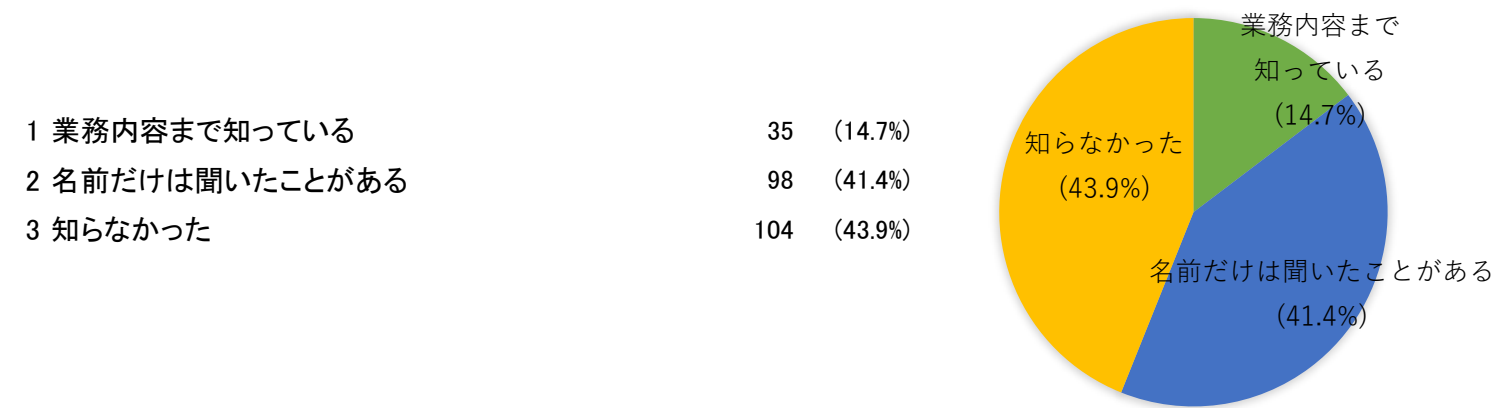
1 いい活動なので、進んで協力したい	50	(21.1%)
2 いい活動なので、たまになら協力しても構わない	69	(29.1%)
3 いい活動だが、自分は世話をしたくない	106	(44.8%)
4 活動を理解できない。やってほしくない	6	(2.5%)
5 その他	6	(2.5%)



- ・猫を触ることができない。
- ・地域猫活動の導入によって、安易に猫を捨てる人が増えるのではと疑問を感じる
- ・文章だけでは、よくわからないから
- ・活動には賛成。お金と体力に余裕がないので出来ない。地域猫活動している人との交流はある。
- ・猫アレルギーなので、良い活動と思っても自分は参加出来ない
- ・住民ではなく姫路市が主体でやるべき

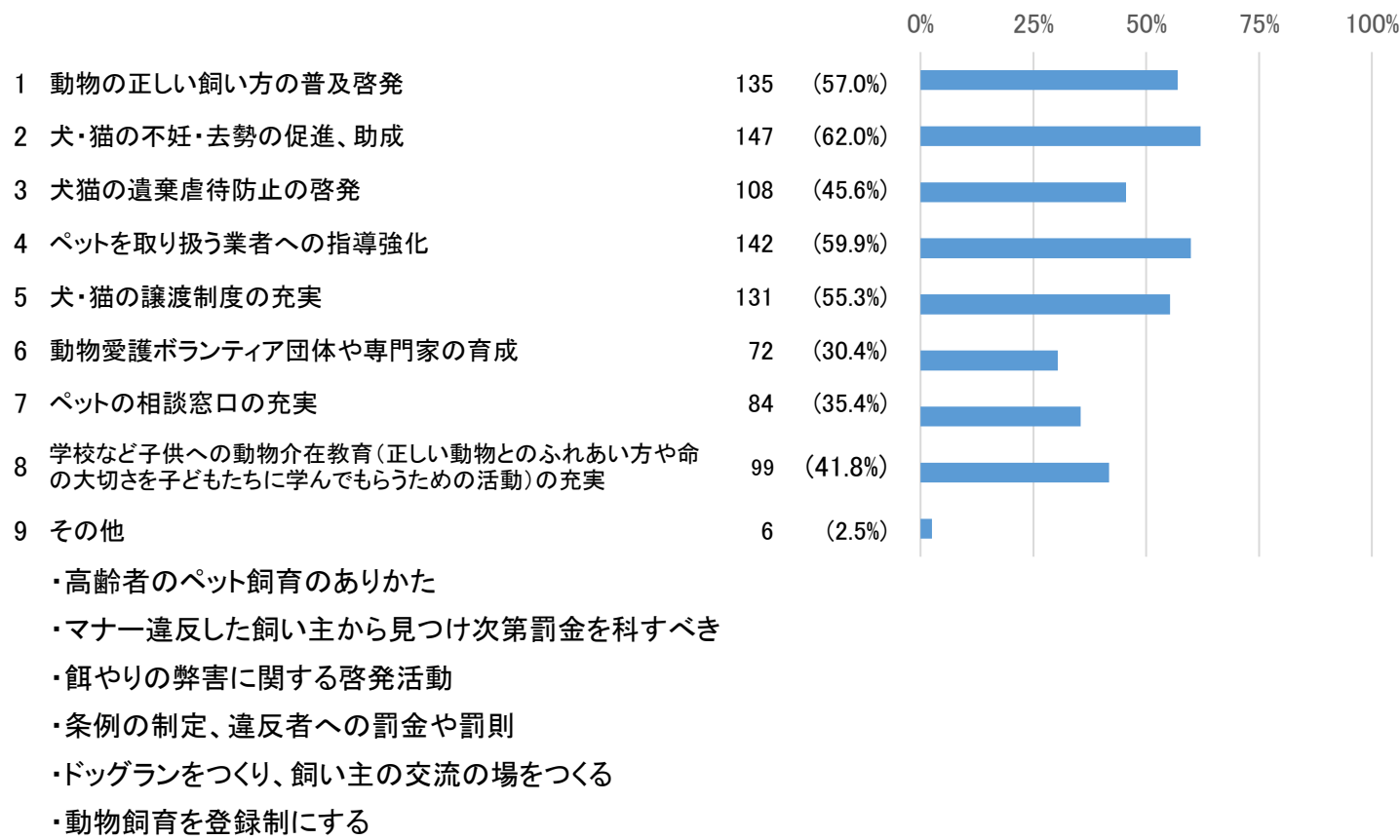
質問14

姫路市の動物管理センターでは、動物愛護思想の普及啓発や犬猫の譲渡に関する事、狂犬病予防法に基づく犬の登録や狂犬病予防注射に関する事及び野犬対策など様々な業務を行っております。
動物管理センターのことを知っていましたか。



質問15

動物の愛護や適正な飼育のために、行政が取り組むべきことは何だと思えますか。(複数回答可)



質問16

その他、本市の動物愛護に対する施策に関して、ご意見やご要望がありましたらご自由にお書きください。

- ペットを飼っている方への講習会などがあればいいと思います。例えばリードは必ずつけましようとか、動物が苦手な人もいるので無理に触らせないようにしましようとか、そういうマナー面が学べるものが良いです。
- ペットに関する相談ができるメールやウェブサイトなどを開設することで気軽に相談ができるようになると思います。
- 保護犬活動のボランティアを希望しているが、姫路には行政が行っているそういった場所はないのか？
- 動物管理センターの活動状況が市民に十分広報されておらず、野良猫や野良犬からの被害に悩んでいる人が多いのではないのか。消費者センターのように被害防止策を啓発してほしい。
- 近所に保護犬を飼った後に餌だけ与えて、糞尿の片付けや散歩などは近隣の人に任せている方もいるので、ちゃんと世話できるのかの見極めや譲渡後の動物の確認などとしたほうがいいのではないかと思います。
- 私は今犬を飼ってはいますが、動物のアレルギーもありますし、ウチの犬しか触れません。他の動物は怖くてさわれません。そういった人もいることは知っていて欲しいです。
- 赤ちゃんボックスのように、飼えなくなったペットを野放しや捨てるのではなく、受け入れてくれるところを探して世話してくれるような施設があればいいような。無責任な飼い主が増えないようにペットショップの指導を。
- ドッグラン等で、専門家と飼い主がペットの正しい飼い方の質問、疑問を話せる場を設けてはどうでしょうか
- 市の余っている土地を利用したドッグランのサービスを増やしてほしい
- とても動物愛護に協力的な方が周りに複数おられます。その人達は傷ついた動物を見捨てる事の出来ない優しい心の持ち主です。そういった方達の支援も市側からもっと補助金など出すなどして欲しいです。
- 犬猫の殺処分の頭数は年間どれくらいか？ 姫路市がどのように対応してるのか情報が耳に目に届かない 広報等でこの問題について特集を組み、市民に知ってもらいたい
- 殺処分となる動物をなくしてほしい
- 毎年姫路市から狂犬病の予防接種の通知が来るが必要性があるか疑問です
- 自分は可愛いと思っている犬の鳴き声も他人には不快に感じるものなので、無駄吠えさせる飼い主への啓発を行って欲しい
- 名古屋墓地に墓参りに行くと、野良猫にエサをやって人がいる。また、捨て猫の段ボールを見かけ胸が痛む。無責任な行為は辞めて欲しい
- 動物を飼う際の審査を設け、安易に飼って捨てることを防止する施策を検討していただきたいです。
- 飼うとは命を預かるという事 ペットショップとかと何かしら連携して飼い主の責任の自覚を促してほしい ただ可愛いだけではなく命を預かるという責任を促し 違反すれば厳しく対処すべき
- 姫路城の近くの公園では、犬の放し飼いをよく見かけます。とても危ないので注意をしたいのですが、なかなかできません。姫路市の条例などで規制してほしいです
- 近隣の方の無責任な餌やりで十年以上の被害、自衛のための多大な費用についての困り事を動物センターに相談した時に、非常に迅速に丁寧に対応していただいたことをとても感謝しています。
- 他市のイベントでは保護猫の事業者などがブースを出していたりするのをよく見かけるが、姫路市では見た記憶がない。私が気づいていないだけかもしれないが。そのような団体の出展費用を安くするなどしてはどうか。
- ペットを飼っていない私自身からするとあまり目にすることが少ない情報なので、動物も参加できるようなイベントを開くなどして少しでも多くの人に関心を持ってもらうべきではないかなと思いました。
- お城周辺での白鷺の増加による被害が出ていると聞きますが、その報告や対策について広報はされているのでしょうか？
- ぜひ市が主導で地域猫の地域活動をすすめていただければ嬉しいです。
- 犬猫が好きな人と同じ数だけ、嫌いな人もいると思います。そんな中お互いの理解を深め共存する事は色々な課題があると思います。しかし犬猫が幸せに暮らせる社会こそが人間も心豊かに暮らせる社会なのだと実感。

- 詳しく調べたことはないが、一般や団体の活動は知人やネット等で情報は入るが、市のレベルではほとんど目につかない。大変な作業だとは思いますがもう少し支援をお願いします。
- 市民への動物愛護に関する施策の報道と相談窓口の充実を早急に実施して下さい。
- 狂犬病の予防接種をしていない犬がいると聞いてビックリしたことがあります
- 譲渡だが条件が厳しすぎるのではないかな？例えば高齢の独居の方にでもお譲りしてもよいのでは？結局若くても何があるかわからないのは同じ。犬猫も保護されなければ死んでしまうなら今日明日だけでも飼ってくれる人に渡せばよいと思う。
- 犬猫だけでなく鳩カラスきつねシカの被害が近年増えてきています。私は、動物の毛や糞等のアレルギー持ちで、隣の部屋の方が鳩に餌付けをし、鳴き声や糞尿被害で困っています。そういう方の対策も考えて頂きたいです
- 車に轢かれたと思われる犬や猫が車道に放置されているのを何度か目撃したことがあるので、轢いてしまった時の連絡先等についての啓発や事故防止の施策があるといいと思います
- 親族がネコを保護して入院してしまい、うちでは飼えないので姫路市動物愛護センターに電話しました。係の方が誰か飼ってもらえる方を探してみと。市とボランティア団体が連携してほしい。
- 動物は好きだが高齢なので最後まで飼えるか心配で飼えない。飼い始める時に、飼い主が先に亡くなった後の面倒を見てもらえる制度はありますか？
- 姫路城周辺や名古山霊園周辺を健康のため、たまに散歩していますが、野良猫に餌をやっている輩をよく目にします。張り紙や注意だけではこのような行為は無くならないと思います。
- 餌やり禁止に関する条例を制定して欲しい
- 自分は動物を飼っていないので動物愛護施策はあまり知りませんでした。広報誌は読んでいるので、市の動物愛護施策がわかる記事などあれば良いと思います。
- スーパーの裏や高架下の空き地などで猫に餌付けをしてそこに住まわせてる人をみます。外での餌付けは野良猫を増やすだけでかえって虐待に近いと思うので、飼うなら自宅で飼うか、取り締まっていただきたいです。
- 飼い主に、マナーについて改めて周知してほしい。動物嫌いな人も、アレルギーがある人もいる社会の中で、お互いに気持ちよく過ごすにはどうすればいいかということを考えてペットを飼ってほしい。
- ペットを飼うことは贅沢だと思うので、ペットを飼っていない人も支払っている市税を使うのは少し違うと思う。値上げの世の中で生活が苦しい人が多いので、まずはそちらに市税を回してほしい。
- 姫路城、名古山近辺によく猫を見かけます。可哀そうだからと餌を与えるのではなく、他の方法で何とか猫たちを救ってあげたいものです。
- 野良猫は退治してほしい。何回もゴミ箱をひっくり返して荒されている。糞もする。飼い猫の可能性もある。飼い主の教育が足りない。
- 地域で適切に飼育されていないと思われるペットがいた場合、情報を募ってその飼い主に指導してもらえたり、動物を保護したりする活動があればいいと思います。
- 動物を飼ったら最後まで世話をする事を義務付けたらどうでしょうか？どうしても買えなくなった時の相談窓口みたいなものがあればいいかも知れません。
- 助成金を満額にして欲しい。もう少し簡単な手続きに。野良部門がある手術料金が安い病院希望。そうならば取り組む人も増え初期投資は増えるが将来野良が減り費用負担が減るのでは？姫路市は殺処分してないと告知を。
- 実家よりも、随分野良猫は少ないです。動物愛護活動が活発なのだと思います。飼い主が最期まで面倒をみるのが一番大切で、そのような心がけになる様にフォーラムなど開催して頂けたら良いなと思います
- ペットの保護施設、老犬、老猫の介護施設をつくる。高齢者、病気になった人のペットを保護できる場所をつくる。
- 動物愛護と言われるが、被害を受けた者ははなはだ迷惑している、市が主体となり動物を保護し処分するなり譲渡を積極的にしてほしい。
- 動物愛護のサポーターやボランティアを育成し、各種イベントを開催し啓蒙活動につなげる。
- 春頃イタチやたぬきが庭にでてきて不快でした。